

北陸情報通信協議会 ICT安心安全部会(第10回)を開催

～ 令和6年度の活動報告・令和7年度の活動方針（素案）を論議 ～



ICT安心安全部会（部会長：四藤 一成（一社）いしかわエネルギーマネジメント協会）は、令和7年3月13日（木）、ITビジネスプラザ武蔵において、第10回会合を開催し、オンライン参加を含め、11名が参加しました。会合では、事務局から令和6年度の活動について報告を行った後、令和7年度の活動について論議しました。

事務局では、令和7年度の活動を進めるにあたり、研究テーマや活動内容について、部会構成員の希望を把握するため、2月下旬に希望調査を実施しました。

第10回会合では、希望調査で出された意見を基に、当面の具体的な取り組みについて意見交換を行い、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害に関しては、「ICT関係で現地において対応されている方々から経験や現状での課題などを聞く機会を設けてはどうか」との意見が出され、また、サイバーセキュリティに関しては、「北陸情報通信協議会の会員企業などがどのような問題意識や課題を持っているのかを把握してはどうか」との提案もありました。

また、これまで7月から翌年3月までの発行となっていたサイバーセキュリティニュースについて、事務局から「令和7年度からは4月からの発行としたい」と提案し、了承されました。

最後に、令和7年度の活動テーマ・活動方針・スケジュールについては、事務局から示された素案の内容で進めていくこととし、意見交換で出された意見を踏まえ、次回の部会において活動方針を決定することを確認しました。素案で示された令和7年度の活動テーマは次のとおりです。

■令和7年度の活動テーマ

「センシング技術から情報処理・通信技術・サイバーセキュリティにわたる広範囲のICTを駆使した先進的な安心・安全ICT技術の発展・普及」の推進

お問い合わせ先：北陸情報通信協議会
ICT安心安全部会事務局
電話：076-233-4421

ICT安心安全部会第10回会合の様子
（写真下）、四藤 部会長（写真右）



サイバーセキュリティに関する勉強会を開催



勉強会で講演する大竹センター長

会合の前段には、ICT安心安全部会と北陸サイバーセキュリティ連絡会（座長：丹 康雄 北陸先端科学技術大学院大学副学長・教授）との合同で、令和6年能登半島地震におけるSNS上での偽・誤情報の発信動向の分析とフェイクニュースに関する勉強会を開催しました。

演題 「NICTにおける社会知コミュニケーション技術の研究開発」

講師 大竹 清敬 氏

（国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ユニバーサルコミュニケーション研究所
データ駆動知能システム研究センター長）